

連結比較損益計算書(要約)

売上高	858億21百万円	前期比 +4.8%	POINT ●当期は訪販グループ、その他が減収となったものの、フードグループが増収となったことにより、全体では増収 ●フードグループの増収に伴う粗利の増加があったものの、訪販グループにおけるRFID(電子タグ)取り付けによる原価上昇を主因として、利益は各段階において減益 ●訪販グループの売上は、主力のクリーンサービス事業が減収となったこと等により減少、原価、経費とも増加し、減益 ●フードグループは、ミスタードーナツが引き続き好調を維持し、増収増益 ●国内連結子会社が増収となったものの、海外連結子会社が減収となり、その他全体では減収減益
営業利益	29億47百万円	前期比 △44.4%	
経常利益	41億04百万円	前期比 △38.2%	
税金等調整前四半期純利益	40億59百万円	前期比 △38.2%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	26億48百万円	前期比 △41.6%	

連結比較貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	前期末 (2023年3月末)	当期第2四半期末 (2023年9月末)	増減
流動資産	69,122	65,715	1 △3,406
固定資産	128,402	129,396	2 993
有形固定資産	49,076	49,546	470
無形固定資産	7,454	7,116	△338
投資その他の資産	71,871	72,733	861
資産合計	197,524	195,111	△2,413

- 1 流動資産**
- 「現金及び預金」が2,584百万円減少
 - 「有価証券」が1,767百万円減少
- 2 固定資産**
- 「投資有価証券」が1,421百万円増加

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

	前期末 (2023年3月末)	当期第2四半期末 (2023年9月末)	増減
流動負債	36,832	31,975	3 △4,856
固定負債	8,917	10,367	1,449
負債合計	45,750	42,343	△3,407
株主資本	140,282	139,101	△1,180
その他の包括利益累計額	11,078	13,256	2,177
新株予約権	49	49	—
非支配株主持分	364	360	△3
純資産合計	151,774	152,768	4 994
負債純資産合計	197,524	195,111	△2,413

- 3 流動負債**
- 「未払金」が2,446百万円減少
- 4 純資産合計**
- 自社株買いにより「自己株式」が1,481百万円減少
 - 「その他有価証券評価差額金」が2,282百万円増加

セグメント毎の状況

訪販グループ

売上高 534億34百万円 前期比 △1.4%

POINT

- 訪販グループ主力のクリーンサービス事業は、営業日が少なかったこと等により減収
- 前期から展開している家庭向け営業専任組織は、当期より加盟店へ拡大展開しており、新しいお客様作りの活動で成果を挙げつつある
- 家庭向け商品は、リニューアル後に販売が好調だった「ロボットクリーナーSiRo」等の売上減少や前期7月1日からの価格改定に備えて台所用スポンジ等の駆け込み需要があったこと等により売上は減少。事業向け商品も抗菌・抗ウイルス加工を施した高機能マットは好調に推移しているものの、空気清浄機「クリア空感」の売上が減少したこと等により、全体の売上は減少
- ケアサービス事業のお客様売上は、拠点数の増加等により増加
- レントオール事業、化粧品関連事業が減収となったものの、引き続き好調を維持しているヘルスレント事業、ユニフォーム関連事業、ライフケア事業は増収
- 2022年11月よりレンタル商品へのRFID(電子タグ)の取り付けを開始しており、今期中に取り付けが完了する予定

フードグループ

売上高 259億44百万円 前期比 +21.5%

POINT

<ミスタードーナツ>

- ミスタードーナツは好調を維持。来店お客様数、お客様単価とも前年同期を上回り、加えて新規出店により稼働店舗数が増加し、全店合計お客様売上が前年同期を上回る
- 7年目となった宇治茶専門店「祇園辻利」との共同商品開発の取り組み「miso meets 祇園辻利」を始め、定番商品周年企画として6月に発売したポン・デ・リング20周年記念商品「白いポン・デ・リング」、8月に第2弾として発売したフレンチクルーラー50周年記念商品「生フレンチクルーラー」は大変好評で、売上増加に大きく寄与
- 軽食需要に対応する「ミスドゴハン」シリーズとして6月に発売した「ザクもっちリング」、8月に発売した毎秋恒例の「さつまいも」も売上増加に寄与

<その他フード>

- とんかつレストラン「かつアンドかつ」も増収

その他

売上高 77億99百万円 前期比 △2.9%

POINT

<国内連結子会社>

- 株式会社ダスキンヘルスケア、ダスキン共益株式会社は増収

<海外事業>

- ダスキン上海は増収となったが、ダスキン香港(清算予定)から調達していたペーパータオルを国内調達に変更したことや、BigAppleグループが減収となったことで海外事業全体の売上は減少。

※各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高△13億57百万円を含んでいます。

株価推移(週足) 2023年4月~9月

